

令和 4 年度当初予算に反映した主な事業について（第 3 期富山県教育振興基本計画）

1 3つの横断的な取組み

「課題解決型の教育」の展開

- ④とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 [予算額 1,550 万円]
課題発見・解決能力の育成に向けてプロジェクト学習を全県立学校で実施し、文理の枠にとらわれない教科等横断的なSTEAM教育を推進する。(県立学校課)
- ⑤令和のとやま型教育推進事業（小・中・義務教育学校）[予算額 915 万円]
全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、重点とする研究テーマを設け市町村教育委員会と連携して研究を進め、子供たちに必要な資質能力の育成を図る。(小中学校課)
- はつらつ公民館学び支援事業 [予算額 200 万円]
公民館を拠点に、地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を行う「地域振興型」5館、子どもたちのふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進する「体験交流型」28館を支援する。(生涯学習・文化財室)

「ICT教育」の推進

- 教育環境のデジタル化推進事業 [予算額 207 万円]
AIやIoT等の技術革新やグローバル化などの進展を見据え、教育環境のデジタル化を統括する「教育CIO」やその補佐役等で構成する「富山県教育DX推進会議」を運営し、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育の総合的・計画的な推進を図る。(教育企画課)
- ⑥ICT教育推進事業 [予算額 7,730 万円]
これまで学校ネットワーク環境や1人1台端末の整備等を進めてきた中、児童生徒の資質・能力が確実に育成できるICT環境の実現に向け、引き続き教員のICT活用指導力の向上、効果的で質の高い授業を展開するためのICT教材の提供、専門知識を持つ教員の養成等を進める。(県立学校課)
- ⑦GIGAスクール運営支援センター整備事業 [予算額 3,335 万円]
学校におけるICT環境の運営を支援するため、「GIGAスクール運営支援センター」による端末・ネットワークトラブル等に対する教職員等からの問合せ対応を行うとともに、情報通信技術支援員の派遣による学校現場への支援を行うもの。(教育企画課、県立学校課)
- GIGAスクール構想推進事業 [予算額 375 万円]
1人1台端末等をより一層活用した効果的な授業実践のため、市町村立学校教員を対象とした研修等を実施する。(小中学校課)

「チーム富山教育」の実現

- 土曜日の豊かな教育活動推進事業 [予算額 1,236 万円]
地域人材を活用した多彩な教育活動を推進するため、土曜日の学習活動や授業を支援し、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。(県立学校は「地域学校協働活動推進事業」で実施)(生涯学習・文化財室、県立学校課)
- 放課後子ども教室推進事業 [予算額 2,915 万円]
放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、すべての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。(生涯学習・文化財室)
- とやま親学び推進事業 [予算額 337 万円]
「とやま親学び推進協議会」を年2回開催するとともに、140名の推進リーダー等を養成・配置し、乳児から中学生までの子どもをもつ親が自分の役割や子どものかかわり方を学ぶ「親学び講座」の充実・推進を図る。また、経済団体等と連携して、10企業において家庭教育講座を開催する。(生涯学習・文化財室)
- 子どもの登下校安全対策事業 [予算額 174 万円]
登下校時等の子どもの安全を確保するため、市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置や、学校安全パトロール隊の活動に要する経費等について支援する。(保健体育課)
- ⑧親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室の開催 [予算額 100 万円]
科学技術人材の育成及び職業観・労働観の育成を図るため、小学生が親子で科学工作・実験に取り組むとともに、関連する科学技術等を扱う県内企業等の見学を実施する。(教育企画課)
- ⑨学習支援等大学生派遣事業 [予算額 600 万円]
富山大学・富山国際大学・金沢大学の教員志望大学生を指導補助者等として小・中・義務教育学校に派遣する。(小中学校課)
- 地域部活動（文化部）推進事業 [予算額 70万円]
令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、拠点校（中学校）において実践研究を実施する。(生涯学習・文化財室)
- ⑩地域部活動（運動部）推進事業 [予算額 686万円]
令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向け、人材確保や費用負担、運営団体の確保等の課題に総合的に取り組むため、拠点校（地域）において実践研究を実施するとともに、部活動を支援する企業の登録及び表彰制度について検討する。(保健体育課)

2 重点的・優先的に取り組む10の重要テーマ

プロジェクト学習（PBL）の推進

- ④とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 [予算額 1,550 万円]
課題発見・解決能力の育成に向けてプロジェクト学習を全県立学校で実施し、文理の枠にとらわれない教科等横断的なSTEAM教育を推進する。（県立学校課）
- ⑤令和のとやま型教育推進事業（小・中・義務教育学校） [予算額 915 万円]
全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、重点とする研究テーマを設け市町村教育委員会と連携して研究を進め、子供たちに必要な資質能力の育成を図る。（小中学校課）

ICTを活用した教育の推進

- 教育環境のデジタル化推進事業 [予算額 207 万円]
AIやIoT等の技術革新やグローバル化などの進展を見据え、教育環境のデジタル化を統括する「教育CIO」やその補佐役等で構成する「富山県教育DX推進会議」を運営し、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育の総合的・計画的な推進を図る。（教育企画課）
- ⑥ICT教育推進事業 [予算額 7,730 万円]
これまで学校ネットワーク環境や1人1台端末の整備等を進めてきた中、児童生徒の資質・能力が確実に育成できるICT環境の実現に向け、引き続き教員のICT活用指導力の向上、効果的で質の高い授業を展開するためのICT教材の提供、専門知識を持つ教員の養成等を進める。（県立学校課）
- ⑦GIGAスクール運営支援センター整備事業 [予算額 3,335 万円]
学校におけるICT環境の運営を支援するため、「GIGAスクール運営支援センター」による端末・ネットワークトラブル等に対する教職員等からの問合せ対応を行うとともに、情報通信技術支援員の派遣による学校現場への支援を行うもの。（教育企画課、県立学校課）
- GIGAスクール構想推進事業 [予算額 375 万円]
1人1台端末等をより一層活用した効果的な授業実践のため、市町村立学校教員を対象とした研修等を実施する。（小中学校課）

キャリア教育の推進

- 富山型キャリア教育充実事業 [予算額 1,279 万円]
高等学校でのインターンシップの推進など、発達段階に応じたキャリア教育を充実し、地域を支え富山で活躍できる人材を育成する。
高等学校では、アカデミック・インターンシップなどを含めた、「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」を推進する。また、「高校生職業教育プログラム推進事業」を実施し、普通系学科における職業教育プログラムを推進する。（県立学校課）
- 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 [予算額 1,505 万円]
（県内全公立中学校 74 校(分校 1 校含む)、義務教育学校 3 校)
規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身につけるため、中学2年生が5日間、地域で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に取り組む。（小中学校課）
- とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 [予算額 105 万円]
「富山で学ぶ・働く・結婚する・産み育てる・暮らすなど、富山の良さを知る」児童生徒が増加するように、ライフプランの冊子（R4より中学生版を電子ブック化）の活用や地域で活躍する方の話、赤ちゃんとのふれあい体験を通し、ふるさと教育を含めたライフプラン教育について体系的に進める。（小中学校課）
- とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 [予算額 200 万円]
富山で働き子育てする良さと自らの生き方に関する副教材の作成・活用や、赤ちゃんふれあい体験、産婦人科医等の特別授業を支援することにより、ライフプラン教育の普及・充実を図る。（県立学校課）
- ⑧とやまの高校生マイスター育成事業 [予算額 350 万円]
ものづくり人材や6次産業人材など、富山の地域を支える人材を育成するとともに、DXに対応した職業人材の育成を図る。（県立学校課）
- ⑨親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室の開催 [予算額 100 万円]
科学技術人材の育成及び職業観・勤労観の育成を図るため、小学生が親子で科学工作・実験に取り組むとともに、関連する科学技術等を扱う県内企業等の見学を実施する。（教育企画課）
- 「キャリア教育指導者養成研修」の開催
本県で実施される全国の教員を対象とした（独）教職員支援機構の研修との連携により、本県教職員の一層の資質向上を図る。（教育企画課、県立学校課、小中学校課）

働き方改革の推進

☒「とやまで教員」応援事業 [予算額 860 万円]

意欲ある優秀な教員を安定的に確保するため、U I J ターンセミナー（東京・京都・名古屋）や教員養成講座を実施するほか、新たに若手教員によるリクルーター活動を展開する。（教職員課）

☒教員採用試験システムの整備 [予算額 1,900 万円]

教員採用試験の出願から合格通知発出までを電子化する「教員採用試験システム」を整備する。（教職員課）

学校多忙化解消推進事業 [予算額 104 万円]

「とやま学校多忙化解消推進委員会」の継続開催や保護者、地域、企業等に対して教員の働き方改革の普及啓発、その他働き方改革の取組みに必要な環境整備を行うことで、学校における多忙化を解消し、教員が児童生徒と向き合いやすい環境を整え、自らの資質能力を高める機会の確保を図る。（教職員課）

スクール・サポート・スタッフ配置事業 [予算額 28,459 万円]

公立学校にスクール・サポート・スタッフ(304校)を配置し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための業務を含めた教員の学内業務の負担を軽減し、子どもと向き合う時間の確保を図る。（保健体育課、教職員課）

☒部活動指導員配置促進事業 [予算額 4,001 万円]

公立中学校及び県立高等学校に部活動指導員（中学校 125 名、高校 30 名）を配置し、教員の負担軽減と競技力の向上を図る。（保健体育課、教職員課）

高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業 [予算額 15,232 万円]

県立学校にスクール・サポート・スタッフ（70 名）を配置し、県教育委員会における障害者雇用を促進するとともに、教職員の学内業務の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間の確保を図る。（教職員課）

地域部活動（文化部）推進事業 [予算額 70 万円]

令和 5 年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、拠点校（中学校）において実践研究を実施する。（生涯学習・文化財室）

☒地域部活動（運動部）推進事業 [予算額 686 万円]

令和 5 年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向け、人材確保や費用負担、運営団体の確保等の課題に総合的に取り組むため、拠点校（地域）において実践研究を実施するとともに、部活動を支援する企業の登録及び表彰制度について検討する。（保健体育課）

不登校児童生徒の教育機会の確保

不登校児童生徒に対する支援推進事業 [予算額 248 万円]

不登校やひきこもり等児童生徒の諸課題に対応するため、訪問指導員を県総合教育センターに配置し、市町村の適応指導教室等を支援するとともに、フリースクール等との連携を推進する。（小中学校課）

スクールソーシャルワーカーの派遣 [予算額 2,649 万円]

社会福祉士等を 14 市町村の全中学校区、義務教育学校に派遣するとともに、高等学校 4 校を拠点に、その他の高等学校へも派遣することで、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援する。（小中学校課）

☒小学校へのスクールカウンセラーの配置 [予算額 6,737 万円]

県内全公立小学校(174校)にスクールカウンセラーを配置する。（小中学校課）

中学校等へのスクールカウンセラーの配置 [予算額 7,876 万円]

県内全公立中学校(73校)、義務教育学校（3校）にスクールカウンセラーを配置する。（小中学校課）

高校へのスクールカウンセラーの配置 [予算額 1,914 万円]

県立高等学校（拠点 16 校）にスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高等学校への巡回支援等を行う。（小中学校課）

少人数教育の推進

☒少人数教育推進事業 [予算額 30,052 万円]

国の計画に 2 年先行した小学校 5 年生の 35 人学級の実施とともに、少人数指導と組み合わせた効果的な少人数教育推進のため、教員を増員するとともに非常勤講師を配置する。（教職員課）

小学校専科教員配置事業 [予算額 4,327 万円]

中学校との円滑な接続を図るとともに、小学校高学年で実施される教科担任制を見据え、英語の教科化や理科などの学習内容の高度化に対応するため、かつ、小学校教員の負担軽減のため、小学校 3～6 年生を対象に専科教員として、正規教員や非常勤講師を配置する。（教職員課）

幼児教育、特別支援教育の充実

㊦幼児教育の質の向上推進事業 [予算額 580 万円]

幼児教育の質の向上を図るため、国公立幼稚園・保育所・認定こども園に対して、「幼児教育センター」による幼児教育アドバイザー等を活用した研修支援、幼小接続の推進等、幼児教育の推進体制を構築する。 (小中学校課)

とやまの特別支援教育強化充実事業 [予算額 970 万円]

障害のある子どもが小学校就学前から高等学校卒業後に至るまでの各段階に応じて十分な指導と支援を受けられるよう、早期からの相談体制の整備、学校への支援の充実、就労支援の充実、教員の専門性の向上に向けた取組み等による特別支援教育の強化充実を図る。 (県立学校課)

- ・ 一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に向け、専門的な指導助言を行う小中学校巡回指導員2名、高等学校巡回指導員2名を配置し、学校への支援を充実
- ・ オンデマンド研修コンテンツを作成し、研修機会を充実することにより教職員の専門性を向上
- ・ 手話及び手話言語条例の普及・啓発を促進するため、手話使用者の講師を派遣し、学校の取組みを支援

㊧特別支援教育ICT活用パイロット事業 [予算額 400 万円]

障害のある子供たちの可能性を広げるため、ICT機器を活用した学習指導の充実を図る。また、医師によるオンラインの助言を活用することにより安心で質の高い医療的ケアを実施できる体制を構築する。 (県立学校課)

- ・ 分身ロボットを活用した遠隔教育や交流及び共同学習の実施
- ・ AR・VRを活用して、造形活動や実験などの体験的な学習を充実
- ・ 医療的ケアの手技に対する医師によるオンライン助言

㊨特別支援教育体制整備支援事業 [予算額 220 万円]

幼稚園や小中学校等に在籍する特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する支援の充実のため、市町村の特別支援教育体制整備の取組みを支援する。 (県立学校課)

- ・ 体制整備に向けた研修会の実施や普及啓発資料の作成
- ・ 市町村や小中学校等の特別支援教育体制整備プランの作成支援

㊩特別支援学校就労応援事業 [予算額 756 万円]

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就労による自立と社会参加に向け、特別支援学校・企業・家庭・教育委員会が一体となって、さらなる就労支援の連携体制づくりを推進する。 (県立学校課)

- ・ 就業体験受入れ先の拡大に向けた特別支援学校就労応援コーディネーター2名及び職場定着に向けた障害者就労定着サポーター1名の配置
- ・ 就業体験等の協力企業による「特別支援学校就労応援団とやま」への登録促進と障者雇用の理解啓発
- ・ 早期からの仕事体験や職場見学の機会を充実し、キャリア教育や就労支援を充実

㊪特別支援学校医療的ケア体制整備事業 [予算額 5,785 万円]

医療的ケアが日常的に必要な児童生徒等が在籍する県立特別支援学校への看護師配置を行うことにより、児童生徒が健康で安全に学校教育を受けることができる環境を整備する。

(県立学校課)

高等学校の特色化・魅力化

㊫とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 [予算額 1,550 万円]

課題発見・解決能力の育成に向けてプロジェクト学習を全県立学校で実施し、文理の枠にとらわれない教科等横断的なSTEAM教育を推進する。 (県立学校課)

㊬高等学校建設事業 [予算額 174,219 万円]

魚津工業高校武道場改築、桜井高校武道場改築の実施設計、富山工業高校自転車置場整備、氷見高校艇庫改築、滑川高校及び砺波工業高校長寿命化改修等を行う。 (教育企画課)

㊭農業教育環境整備事業 [予算額 6,764 万円]

農業学科を有する高校に、先進農業機械を整備する。 (教育企画課)

外国人児童生徒教育の推進

外国人児童生徒に対する日本語指導や生活適応指導等の充実 [予算額 1,078 万円]

外国人児童生徒の多い学校へ日本語指導担当教員や外国人相談員の配置などを行う。 (教職員課)

㊮外国人児童生徒教育推進事業 [予算額 240 万円]

「外国人児童生徒教育の手引」の作成、関連機関と連携・協力した指導体制の構築 (運営協議会の開催) 等、学校における指導体制の構築、研修の充実等を図る。 (小中学校課)

データサイエンス教育の推進

㊯県立大学DX教育研究センター運営事業費補助金 [予算額 7,870万円]

(経営管理部所管事業)

㊰県立大学におけるデータサイエンス人材の育成に向けた検討費 [予算額 435万円]

(経営管理部所管事業)